

小学校第六学年 国語 「資料を読み、仮説を立てよう」

○ 正答例

一 【仮説】

新聞の文字は、

お年寄りに読みやすくする

ために大きくなったのであろう。

【理由】

六十年前よりも大人の人口は大きく増えた。特に五十才以上は二倍以上だ。人は年をとると小さな字が見えづらくなる。小さい字のままでは新聞を読まない人が増えるかも知れない。そこでお年寄りにも読みやすくする工夫が必要になったのではないか。
(百十四字)

○ この問題で身につけてほしい力

○ 資料を読み取り、見通しをもって考える力。
○ 資料をもとに自分の考えをまとめる力。

○ 考え方

さまざまな場面で「仮説」を立てることがあります。

例えば、理科や社会の授業、夏休みの自由研究や総合的な学習でテーマに沿った調べ学習などをする場合に仮説を立てることが考えられます。国語なら、説明文の中に時々見られる表現です。

簡単に言えば「仮説を立てる」とは、

「これから何かを調べるときの道しるべ」

なのです。

こうなるのではないか、と考えることで、どんなことを、どのよう
に調べるのかははっきりしてくるからです。

一 【資料ア】は、新聞の文字が六十年の間に大きくなったことを表しています。

【資料イ】は、人口ピラミッドを比べ、六十年の間に人口がどのように移り変わったのかを表しています。

【仮説】を立てる前に、資料をよく読みます。【資料ア】からは、

・ 新聞の文字が大きくなったこと。

がわかります。

では、新聞の文字が大きくなると、どんな人にとって便利なのでしょう
うか。

こういう疑問をもって【資料イ】を見ると、

・ 三十才以上の人口が大きく増えている。
・ 五十才以上の人口は二倍以上になっている。

などといった変化が気になるのではないでしょうか。

新聞の文字が小さいままでは、読みにくい人がいる。文字が大きくなることで、その人たちにとって読みやすくなる。ということは、目
があまりよくない人たちではないか。

つまり、お年寄り対策だろう、と考えられるのです。

【理由】は次のような構成になっています。

・ 【資料イ】から分かること。
・ 【資料】から考えたこと。
・ 理由

○ 【資料イ】から分かること

六十年前よりも大人の人口は大きく増えた。特に五十才以上は二
倍以上だ。人は年をとると小さな字が見えづらくなる。小さい字

○ 【資料】から考えたこと

のままでは新聞を読まない人が増えるかも知れない。そこでお年
寄りにも読みやすくする工夫が必要になったのではないか。

○ 理由

仮説はあくまで仮説です。本当に仮説の通りなのか、調べて、確か
める必要があります。仮説の通りならばよし。ちがっていてもよし、
です。新聞の字の大きさについても、ぜひ調べてみてください。